臺灣新民報 夕刊 第二千一百三十一號 昭和十年三月三十一日 日曜日 第一万三千四百十七號

臺灣新民報 夕刊

十三年三月三十一日 夕刊第一種郵便物認可 第二千一百三十一號

編輯兼發行人 鈴木 喜
發行所 臺北市榮町一丁目三番地 電話日本新聞社内
臺北支局 基隆市仁愛町（電話第八八五）
臺中支局 臺中市寿町（電話第七〇）
臺南支局 臺南市新町（電話第六〇）
花蓮港支局 花蓮港街入船町
大阪支局 大阪市西区阿波座上通（ヨネカビルディング内）
東京支局 東京市芝区新堀端通三ノ一（電話芝一三五）

臺灣民意代表 會議

共同戰線か 軍部案に刺戟されて

政黨方面の空氣緊張

州議戰その後の立候補

臺中二區四區は 既に白熱戰展開

英佛に支那間に 武器供給協定

各國間に猛烈なる 武器賣り込み競爭

共産軍、國府に 軍事協定を結ぶ

米特派員の視察記

太原の排日氣勢 官憲の煽動で熾烈

北平から大使館員一名

遊襲的抗議

支那が川越大使

常住人口の調査

内地人口六千九百廿一萬餘

大熱戰 氣勢はル氏に有利

米大統領選擧戰白熱化

砂糖供給協定 正式に調印

恩給金庫は 別箇に新設

公益庶民金庫と

愛すべき哉 ―(33)

武田麟太郎 富永謙太郎

齣咳鎭

前鐵相内田信也氏 東京檢事局に召喚

五萬圓の選擧費用が問題 國鐵疑獄重大化す

（寫眞は内田前鐵相）

（東京三十一日發至急報）再燃國鐵疑獄政商側の最高目標として強ねて身邊の危急を傳へられてゐた前鐵道大臣從三位勳二等内田信也氏（五七）は三十一日午前七時五十五分東京地方檢事局からの召喚に應じ麻布區霞町三の義兄日魯漁業社長窪田四郎氏邸から任意出頭の形式で自家用自動車で檢事局に出頭、直ちに調室に當てられた陪審合宿棟上の一室に於て有安次席、馬場兩檢事の取調べを受けてゐる同氏が召喚を受けるに至つた事情はさきに同郵便に亟逃し强制收容中の鐵道疑獄飛島組社長飛島文吉（六二）、昭和電鐵前代表取締役（鐵疑獄消人）「ど等の取調べに依り昨年九月二十五日施行の衆議院總選擧の直前飛島氏から鐵疑獄氏を通し選擧費用として同窪田氏の義兄鐵七に五萬圓を提供してゐる事實が明らかにされたからである

辯解が運命の岐路

任意出頭ではあるがさすがに顏面は紅潮

【東京三十一日發】檢に召喚された前鐵相内田信也氏と鐵疑獄關係の三の鍵を握る日魯漁業社長窪田四郎氏邸から任意出頭の形式内で自家用に乘のステアキといふ特殊なスタイル

で午前八時半頃いささか緊張させながら檢察局に出頭、有安、馬場兩檢事の取調べを受けてゐるが土木會社から本年二月の總選擧前に政民雙方と共に受けた昭和電への獻金十萬圓とは別途に同電鐵疑獄に先立つ昨年九月のに臨時國鐵疑獄事件で檢擧された前運相飛島文吉氏から五萬圓を渡された問題に關するものであるがこれに對し内田氏が如何なる辯解をするかが氏の運命の岐路

取調は夕刻迄か 一旦歸宅を許され 再度召喚されん

【東京三十一日發】内田前鐵相に對する檢察當局の取調べは昭和電疑獄に關聯して飛島、鹽野兩檢事が取調べは取調べは取調べは

第一万三千百四十七號　神戸日日新報　昭和十二年十一月一日

御殿女中

（83）

（上海）邦枝完二作　神保朋世画

縁（三）

奇妙な縁わてあたらいた。

「よく、よく無事で帰てくれた」

「お父さん。……申しわけがございません」

「お前が謝ることだけは少しもない。これには裏に深があるであろう。何はともあれ、お前が無事で帰てくれたのは、この上もない仕合せ。……」

「あたしや庄吉を助けようといたしましたのが。……」

「それもこれもくべ帰て皆。幸ひお金も用意して来たゆゑ、これをお屋敷の方に差上げて。……」

「そんならおやくたお金を。……」

「何もいはずに長にあるアルゆる出来る。……おおさうだ。はいふものの、今のお女中様のお言葉では、お前をこのまま御女へ連れ行くとのこと。……」

「ええ。」

「お前、」

「あい」

「ここの家……」

「これはならない。」

「それは」

「ええ。」

「何もいはずに長にあるアルゆる出来る。……おおさうだ。はいふものの、今のお女中様のお言葉では、お前をこのまま御女へ連れ行くとのこと。……」

「ええ。」

「お前、」

「あい」

「ここの家……」

「これはならない。」

「それは」

「ええ。」

「ええ。」

「皆中へ帰るやうしい物と彫られて。……」

「ええ。」

そこへ、機嫌を伺いて駆け込んで来たのは御女中の庄吉だった。

「庄吉は、地獄のやうた 暫くたいまになつてしまひました」

「な、なんだな。」

「生れもつかない片輪者に。……」

知れぬこと。わたしや一度庄吉に会つて。……」

「お父さん。——」

お篤はいきなり御女中の膝に泣き崩れた。

「おお、何んとした」

「庄吉は、地獄のやうた 暫くたいまになつてしまひました」

「な、なんだな。」

「生れもつかない片輪者に。……」

「ええ。」

「皆中へ帰るやうしい物と彫られて。……」

「ええ。」

そこへ、機嫌を伺いて駆け込んで来たのは御女中の庄吉だった。

「ではおじや、このまま庄吉と一緒には、帰れないのでございますか。」

「さア、もう一度わたしから、ゆつくり御願ひして見るつもりだが、さつきの御女中のお言葉では……」

「そんまアどうせう。……あたしや死んでも、もう御巻公には上りませぬ。」

「これ御待な。そのやうな大きな声をして、おこう様のお耳へ入つたなら、それこそこのままではすまされまい。——もうよい。時ふふ時はぬかはこの次にして、おこう様と先刻のお武家様に、わたしからよく御願ひをして見るつもり。お前はどこまでも、知らぬもでるのがよいぞ。」

「さうつて。……」

「ては聞き分けのない。ここで御待は、どこまで御願は聞くなるかなに御わてあたらいた。

「よく、よく無事で帰てくれた」

「お父さん。……申しわけがございません」

「お前が謝ることだけは少しもない。これには裏に深があるであろう。何はともあれ、お前が無事で帰てくれたのは、この上もない仕合せ。……」

「あたしや庄吉を助けようといたしましたのが。……」

「それもこれもくべ帰て皆。幸ひお金も用意して来たゆゑ、これをお屋敷の方に差上げて。……」

「そんならおやくたお金を。……」

「何もいはずに長にあるアルゆる出来る。……おおさうだ。はいふものの、今のお女中様のお言葉では、お前をこのまま御女へ連れ行くとのこと。……」

「ええ。」

「お前、」

「あい」

「ここの家……」

「これはならない。」

「それは」

「ええ。」

今の映画

スペイン映畫　情熱のボムバ

十一月一日より新世界館

▲往時傑作アナコに次ぎコロムビアが提供するスペイン映畫で全国網的な国劇のリズムに依つて貫かれた個個篇であるが特に編に力を注ぎスペイン・タンゴバンドの演奏で新らしき形式のボンボムバが一番の見どころ顧られる

▲原作脚色はアルエル・セヴィラ主演はカルメン・ゲルレロと快優アナコで お目見得したアン・マルチネル・キヤザドである▲同時上映はユナイト映畫「生活への道」エリオット・ニューンントの監督作品になる結婚生活の破綻を扱つたもの。ミリアム・ホプキンスの演技を見るべきである——喜劇は「繁盛のボムバ」——

珍奇倶樂部

植原路郎

ああ流行

流行となると、婦人達は、随分と、馬鹿をもするものが、一面また流行には、従順なもので、今でこそ、廃れたが、一時、断髪が流行つた時代には、女髪結さんが、一軒一軒、廻つて歩いたものだ。また、一時、洋髪が流行つた時には、一軒の髪結さんに、一軒の髪結さんが、附いてゐたものである。髪結さんが、一軒一軒、廻つて歩いたのは、髪結さんが、一軒一軒、廻つて歩いたのは、髪結さんが、一軒一軒、廻つて歩いたのは、

內田前鐵相突然應召
出頭東京地方檢事局
再燃國鐵疑獄果然重大化

東京三十一日電。有傳再燃國鐵疑獄受賄最高目標之內田前鐵道大臣今午後一時半應檢事局之召喚。自麻布區三河臺町二八邸第一出任飛島氏經營之飛島組社長飛島文吉(六一)。昭和會所屬前代議士雛波貞人(四九)。等之究問。知昨年九月二十五日。茨城縣會議員選舉前。由五萬圓。內田氏。有無關係。此點所要究問之。

內地常住人口調查
昨年六千九百餘萬
比現在少三萬六千餘人

東京三十一日電。內閣統計局。昨年國勢調查施行之際。調查全國市町村現在人口。並市町村所謂常住人口表。現已完了。三十日發表其概要如左。

昭和十年國勢調查常住人口概要

一、全國人口　昨年十月一日。施行國勢調查結果內地常住人口。六千九百二十一萬七千百　九十七人。比之現在人口。少三萬六千九百五十一人。即現在人口百分之九九零九五。但調查當時。未常住人口之數。

一、府縣別人口　府縣常住人之順位。與現在人口全然相等。而此常住人口現在人口多者二十四府縣。少者二十三府縣。其常住人口之多者。以東京差額一萬四千二百三十五人爲最。富山秋田六千人以上次之。其常住人口之少者。以北海道差額三萬四千五百五人爲最。福岡九千七百二十一人次之。

一、人口密度　每方里平均一千人。即東京府。大阪府。神奈川縣。愛知縣。兵庫縣。福岡縣。

一、人口增加率　昨年十月一日。內地常住人口。比此更大。

一、人口增加率　昨年十月一日。內地常住人口。比此更大。

一、人口增加率　昨年十月一日。內地常住人口。比此更大。

各社明年度砂糖
供給協定正式簽印
昨夜深更糖業聯合會

東京三十一日電。糖業聯合會。明年度砂糖供給協定。曾經難航。乃三十日開各社總額會。至於深更始見決定。正式簽印。內容如左。

一、協定期間　昭和十二年四月一日。至同　十三年三月三十一日。

一、協定數量　十一箇月間。但沖繩產糖。並臺灣島內之供給。十二年一月一日。至同年十二月行規定。但實買不調之時。臺手得將其數量。振替爲直消第一種糖。又買手以已成市場直消第二種糖。

一、協定數量　又其協定。大體與本年度同。對數糖商要望。而謀協定期間之曆年制化。並認南洋與臺輸出上之特殊事情。免除其社之輸出義務。以設釀出金制。承認國內轉買。

一、北海道甜菜糖。一撻十錢。釀出糖聯。產糖全部。得供給國內。但已社產糖相當全部之二五。或他四內。輸出產糖。

或次年度繰越之時。前記釀出金免除。

一、各社分攤數量　以外產糖輸出。或次年度繰越。但南洋與發。產糖一撻釀出二十錢於糖業聯合會。產糖全部得供給國內。

一、各社分攤數量　不足之時。得以前年度繰越。

會員一同。就現在臺灣事情即應政一新。本島人之日本化。航空問題。教育問題。其他各種問題。無忌憚。交換意見。而小林總督。關明日之臺灣。述許乡抱負。至午後五時做告畢。

小林總督
開陳抱負
會見記者團

負臺灣更始一新。及南方發展之重大使命被任之小笠總督。去三十日午後三時半。于總督官邸。會見大澤本社主筆。蒲田大朝中島同盟支局長。及總督府日刊。記者俱。樂部六日會見一同。就現在臺灣事情即應政一新。本島人之日本化。航空問題。教育問題。其他各種問題。無忌憚。交換意見。而小林總督。關明日之臺灣。述許乡抱負。至午後五時做告畢。

五萬圓辯解如何
內田氏運命有關
出頭時顏面見些紅潮

東京三十一日電。見召之前鐵相內田信也氏。自麻布區霞町三義兄日魯漁業社長鐘田四郎氏邸。以任意出頭形式。身穿背廣服而掛眼鏡。手執丈杖。顏面現些紅潮。出頭檢事局有安。馬場兩檢事。交相究問。即爲土木協會。本年二月總選舉前。昭和會與政、民兩黨。竝受獻金其額十萬圓不關。別於談會結成前。昨年九月。府縣會議員選舉時。以茨城新政俱樂部名目。受飛島文吉氏。金五萬圓。內田氏如何辯解。運命有關云。

北門神社
祭典誌盛

北門神社祭典。去二十八日午前八時起。舉行鎮座都下各團體。竝官民約近二千名參列。白仁郡守。敬德。十二、魯郡風守長。魯與郡風送外海。園和田縣郡春、魯林。甘時耕績重。園林榮處水山佳。臺北謝氏棺見。二十、魯論英殘傳徒警世。園書讀罷。賢親花。臺北李林氏素琳。又備取十名。爲臺南應選。臺北顏舜華。臺北謝氏棺見。二十、魯論英殘傳徒警世。園書讀罷。賢親花。臺北李林氏素琳。

北市三公校
勤續表彰

去三十日教育記念日。臺北市太平。蓬萊。大橋三公學校。各于是日。對勤續滿十周年之教員。由保護者會。或家庭會。衆行表彰式。或贈呈記念品。而太平公學。校石井市尹。蓬萊公學。校則變澤。助役臨席。受表彰者氏名如左。

▲太平公學校訓導木村三郎氏(午後二時舉式)

▲蓬萊公學校訓導井之口靜夫。同小關正男。黃氏栗花三郎(午後一時舉式)

▲大橋公學校訓導(午後三時舉式)

臺南市防空
行大演習
將力管制燈火

十一月一日。臺南市將行防空大演習。臺南警察署。爲期演習。與燈火管制之徹底。於三十日朝十時。集市內警察監督之各種營業組合幹部二十餘名。在署會議室。由場署長。川島行政主任。各于以注意。午後再集游技場業者。照前注意其於當夜。須自知所謹愼。蓋去二十三夜演習燈火管制時。防衛團員。出爲傳達警報之際。如理髮業者。多置若罔聞。未肯立爲消燈。今次乃特予以警告。聞理髮組合。亦自出取締。當日下午五時到現場。劉警部臨時歇業云。

朝鮮視察團
觀唱歌會

臺北市蓬萊公學校。于一日午後一時半。將開兒童唱歌會。有如所報。是日適朝鮮教育視察團。一行十七名。滯北視察中。豫定于午後二時頃。參觀唱歌會云。

積怨於黑夜
欲燒人家
事前聞及捕住

員林郡社頭庄枋橋頭人劉慶雲。年三十四。去二十八日午後十一時。機放火材料。突使人庄中蕭晶盛宅。欲全燒其家。被員林郡警察課探知。大下司法主任以下係員六名。即急到現場。劉挿入逃留場押收多數證據品。現山大下司法主任取調中。聞其原因。前記劉蕭兩人。去年十一月以事互相仇視宿怨未消云。

竹山
畜產座談

竹山郡畜產協會主管。實施。去二十九日午前十時。於

海產商德源倒產
水上署再開始搜查
有阻害日華貿易擬嚴罰之

既報元發北市永樂町。海產商德源商行主蔡煥宗氏。在鄭於當地。有二年餘。對各方面頗稱圓滑。故一般深惜其轉出。聞該後任者。乃由大湖工場長中村氏轉製。又同時經專任最務主任。以本地藤本氏昇任之云。

東港
換發記念

東港街。去十月三十日之教育日午前八時。在東港公會堂。仰谷郡守以外。街協議會員。郡內各多數參列。郡行政育勤語御奠證記念式。八時四十分畢式。

國演佳績

東港郡國語演習會。去十月三十日午前九時五十分起。在東港公會堂。由郡下各公學校兒童代表生。國語練習所生徒等百二十名。及小公學校女職員之十餘名參集。開聯合國語演習會。定刻首由山田郡親榮講開會辭。一同合唱國歌。谷郡守之訓示。山田郡親學之注意。後移入演習。午前中四十周終了。午後一時再開。至同六時四十分。三十八回終了。對此有山田郡親學之講評。後對出演者。授與賞品。至三時五十五分。盛況裡閉會。又本年比例年。成積頗佳云。

森岡長官
初巡屏東
參拜阿緱神社

森岡總務長官。初巡視屏東市內程。十一日午前九時。抵屏東驛。驅自動車。視察警屋。同九時五十分。訪問第三參拜阿緱神社。午前十時半。到市役所。憩取十分後。觀察屏東醫院。及製糖會社。下午巡視屏東郡下振興治水工事。武洛還草埔庄村。同三時四十分。(午後三時舉式)

源成農場開磋商會
佃人聞條件起恐慌

臺中州北斗郡二林庄磡礵前國鐙相內田信也氏。自麻布區霞町三義兄日魯漁業社長鐘田四郎氏邸。以任意出頭形式。身穿背廣服而掛眼鏡。手執丈杖。顏面現些紅潮。出頭檢事局有安。馬場兩檢事。交相究問。即爲土木協會。本年二月總選舉前。昭和會與政、民兩黨。竝受獻金其額十萬圓不關。別於談會結成前。昨年九月。府縣會議員選舉時。以茨城新政俱樂部名目。受飛島文吉氏。金五萬圓。內田氏如何辯解。運命有關云。

北門神社
祭典誌盛

北門神社祭典。去二十八

州議員逐鹿戰
臺中初日報出四名
料必意外激戰

官選議員敍北三卷俊夫氏。以宇高雄星野眞太郎氏七長。第二區梅谷州地方課長。選舉會場將於投票五日前告示。又竹州午前中既有兩名報出。午後苗栗街社寮岡貸地業郎雲與氏。年五十。桃園街桃園宇長美濃類元貸拐蠟番氏年四十三。受同街中南智景忠外四推薦而立候補。於定自立三名。第一區新竹市倘無一名報出。但有數名欲出之風說。

中州第四區
候補二倍

臺中州下第四區彰化。員林。北斗三郡定員四名。已有十二名欲出馬。料必激戰。即彰化郡鹿港街陳棧洽。線西庄陳滿盆。黃呈聰。藉興庄許媽癸。林郡員林街張湖。林柳。田中庄潘墩仁。溪湖庄多賀明聰工場長。北斗郡北斗街林伯餘。二林庄林媽竹塘庄許學。溪州庄鹽水港製糖工場長矢野那美諸氏。外態度未定者有員林郡永靖庄陳作忠氏。又彰化市議許嘉種氏。亦欲由四區出馬。

嘉義少熱
內二本一敗

嘉義少棒球團。去二十九日午後一時。在嘉義公園。第一回。他三區氏。第二回。他三區氏。第三回。他三區氏。受推薦出馬。

彰化市南瑤宮媽祖
第二日繞境誌盛
一等優勝旗自動車匾

▲團體賞一等優勝旗。自動車匾。

▲總庇賞(各種雜貨)。友金一封。一等洪錦戰旗。

▲總庇賞(各種雜貨)。友金一封。一等洪錦戰旗。

彼薑頭毒蟲咬傷
發熱起赤斑點

外交部對日起六條
抗議華北我軍演習

表彰二氏

新竹已二名
陸續候補

竹州選舉五
各區民選
陸續報出

基隆初日
尚無候補

嘉義少棒
內二本一敗

完成記念
線郵票

本邦植物學界ノ巨星ヲ失ヒ世界ノ牧草博士ノ偉大ナル足

臺灣日日新報　每日發行　臺北市表町二丁目二番地　電話　社長室　編輯局　營業局　會計課　印刷工場　一〇〇番

臺灣日日新報　本日夕刊共一二頁

臺灣日日新報　第二回　開始

實拔　愈々第二回　配本開始

完成記念　線郵票　本邦植物學界ノ巨星ヲ失ヒ世界ノ牧草博士ノ偉大ナル足

漫畫　補物　合作　連載　吉本三平畫「吉田茂傳」(15)

貴院視察團
官民歡迎

官民有志主催。來臺之貴

東港郵

臺南市行大演習
將力管制燈火

北市三公校
勤續表彰

小林總督
開陳抱負
會見記者團

對抗陸上競技
磋商創立
花蓮米穀組合

議員平均五十四歲
六十歲以上占四成
最老七十三最少卅七

魯園徵聯發表

內地常住人口調查
昨年六千九百餘萬
比現在少三萬六千餘人

內田前鐵相突然應召
出頭東京地方檢事局
再燃國鐵疑獄果然重大化

五萬圓辯解如何
內田氏運命有關
出頭時顏面見些紅潮

北門神社
祭典誌盛

各社明年度砂糖
供給協定正式簽印
昨夜深更糖業聯合會

中州第四區
候補二倍

嘉義少熱
內二本一敗

源成農場開磋商會
佃人聞條件起恐慌

森岡長官
初巡屏東
參拜阿緱神社

國演佳績

東港
換發記念

朝鮮視察團
觀唱歌會

積怨於黑夜
欲燒人家
事前聞及捕住

竹山
畜產座談

海產商德源倒產
水上署再開始搜查
有阻害日華貿易擬嚴罰之

彰化市南瑤宮媽祖
第二日繞境誌盛
一等優勝旗自動車匾

彼薑頭毒蟲咬傷
發熱起赤斑點

外交部對日起六條
抗議華北我軍演習

表彰二氏

新竹已二名
陸續候補

竹州選舉五
各區民選
陸續報出

基隆初日
尚無候補

嘉義少棒
內二本一敗

完成記念
線郵票

實拔　愈々第二回　配本開始

臺灣日日新報　每日發行　臺北市表町二丁目二番地　電話　社長室　編輯局　營業局　會計課　印刷工場　一〇〇番

臺灣日日新報　本日夕刊共一二頁

臺灣日日新報　第二回　開始

臺灣日日新報

日本夕刊共十二頁　定價每月金貳圓

外交時報

十一月上旬號　每月二回發行

臺灣ビルデング

●大發見せり　胃腸病は　デルピーてなほる

新發見のデルピーは如何に胃腸の慢性頑固なる苦悶や赤痢病其他胃腸の弱き人、大便に粘液や濁汁の様な物を混じ下痢しぶり、しく〳〵と腹が痛む人に至極適當な理想的藥劑であります。諸君若くは世上有り觸れた藥、大なる販賣其他の方法にて賞れる藥劑用の藥劑と同一視する事なく、唯より服用、品質本位であり、飛ぶが如く賞れるデルピーを服用して永年の病苦をけろりと治し、醫師をも驚嘆せしめます。又人助けの爲め他人にも知らせて下さい

全治者の實話

私は六年前より胃に悪い薬ばかりのんで居ましたが、デルピーの發賣されし事を聞き知り、早速一包を取寄せ服用せしに一包一包と其ヤキメ五日分を服用せしに一包一包と其ヤキメ目に見えて全治しました、今は健康にて感謝に堪へず日々の業務に勵んで居ります。

デルピー定價　十五個入　金二圓　三十個入　金三圓

發賣元　臺北市榮町四丁目　本舗　信生堂　森岡藤吾

代理店　臺北市本町　資生堂
臺北市新起町　山陽堂
臺北市榮町　廣生堂

◆全國到る處の藥店

注意主治力效能

實地本位　天下爲眞寫座講

愈々第二回配本開始　追加申込大殺到

佐和九郎全執筆

簡單で正確な寫眞上達の祕訣を實技本位に一々實驗を通じ平易懇切に而も徹底的に公開された空前の一大寫眞大系である。

1 露出の決定
2 撮影の基礎
3 整色寫眞術
4 風景撮影の實技
5 人物寫眞の研究
6 夜の寫眞術
7 現像の祕訣
8 引伸の指導

全八卷・內容見本進呈　菊判特製大裝華版　各卷二百頁餘外　綠アート紙使用　オールコロタイプ版　寫眞多數挿入　美麗なる裝幀　申込金不要　毎月一回配本　會費毎月二圓　送料十四錢

第一回配本大增刷　露出の決定

壓倒的大好評！又々大增刷

よい寫眞を作る最も重大な第一歩は露出を正確に決定することである、本書は露出の決定に關係ある天候、時間、絞り、一々實驗に基いて明快に解答されたる寫眞家必讀の名著である。

待望の第二回配本　撮影の基礎

早く上手に撮影出來る根本知識と、基礎技術とが分り易く講述されてゐる。

絞りや、焦點深度表の正しい使ひ方、フィルム選擇の要領等撮影に基礎になる凡ゆる知識、技術を說明寫眞を澤山挿入して誰にもわかる樣解說され實際寫眞の王道に導く絕對指針、待望一讀者のために

御入會は即刻書店へ

アルス　東京市神田區錦町三丁目

鐵圖大色原物植

內外

集全學物植野牧

完成記念豫約募集

申込殺到！空前の大好評

本邦植物學界に印せられた牧野博士積年の大業績！植物と共に生き、植物と共に五十餘年を費やされし研究と蒐集の大結晶がこれである。

本全集は日本植物の標準圖說であり、更に我國の植物學史でもあると共に、何年に發見されたかといふ貴重な事實から當時の原記載まで總覽的に知ることが出來ることは本全集が植物大辭典を兼ぬるものといへやう。

本全集の書目

1 日本植物圖說集
2 植物分類研究（上）
3 植物分類研究（下）
4 植物隨筆集
5 植物集說（上）
6 植物集說（下）
7 總索引
別卷 歐文植物論文集

豫約規定

▽豫約　三回（第一回配本より第三回配本まで）

▽豫約金　第一回　金三圓（送料共）　第二回　金三圓（送料共）　第三回　金三圓（送料共）

▽豫約期間　昭和十一年十一月一日より昭和十二年三月末日まで

▽配本　毎回一冊見本として配本す（金五圓五十錢別製）　金十二圓の豫定

▽定價　金三十圓（送料共）

▽特價　金二十四圓（送料共）

▽時期　即時配本をなすものとす

▽發賣所　東京市神田區錦町三丁目　振替口座東京四五三四番　株式會社　新光社

全十三卷の書目

1 有用花卉圖說（其一）植物圖說（其一）
2 有用花卉圖說（其二）植物圖說（其二）
3 有用花卉圖說（其三）植物圖說（其三）
4 有用花卉圖說（其四）植物圖說（其四）
5 有用花卉圖說（其五）植物圖說（其五）
6 有用花卉圖說（其六）植物圖說（其六）
7 有用花卉圖說（其七）植物圖說（其七）
8 有用花卉圖說（其八）植物圖說（其八）
9 有用花卉圖說（其九）植物圖說（其九）
10 有用花卉圖說（其十）植物圖說（其十）
11 有用花卉圖說（其十一）植物圖說（其十一）
12 有用花卉圖說（其十二）植物圖說（其十二）
13 總索引

全十三卷・豫約全集

特價〆切十一月五日

內容見本

外交時報

十一月上旬號　每月二回發行

重光駐蘇大使の赴任……全
英米佛提携の爆彈と全本位……城
滿洲國協和會の根本精神……一
滿鐵改組問題の解決……雄
太平洋會議の經過及結果……夫
パレスチナの問題……
國防より見たる稅制改革……
歐米・支那・滿洲・各國重要……
本誌時報……

長谷川進一
藤岡啓
金崎賢
馬場秀夫
西山榮久
大西齋
鹿島守之助
末廣重雄
中山貞雄
山川端夫
金生喜登
岡野鑓記

社報時交外

東京丸ノ內二六六

臺灣日日新報

日本夕刊共十二頁　定價每月金貳圓

外交部對川越大使　抗議華北我軍演習

南京三十日電。國民政府外交部二十九日對川越大使抗議華北我駐屯軍演習。該抗議大意略謂華北軍事關係中國家屋云。

大阪人絹

十一月限	六三〇	六三〇	六三〇
三月限	六七〇	六七〇	六七〇

神戶期米前場

十一月限	八三〇	八三〇	八三〇
三月限	八六〇	八六〇	八六〇

橫濱生絲

十一月限	六三〇	六三〇	六三〇
三月限	七〇〇	七〇〇	七〇〇

基隆初日　尚無候補

基隆市長選。初日猶無人

林文誠堂

東京市神田區錦町三丁目　振替口座東京四五三四番　株式會社　新光社

伯林オリムピック大鑑　賣切！

▲今後ノ御註文ハ發送致兼マス　發行所　臺灣日日新報社

第四拾九回決算

昭和拾壹年九月參拾日現在

貸借對照表

資產之部

未拂込株金	一〇〇、〇〇〇圓
製氷機械設備費	一〇、〇〇〇圓
希藏麻殺備費	二、〇〇〇圓
市役所保證金	三、〇〇〇圓
魚部仲買人保證金	三、〇〇〇圓
青物部仲買人保證金	三、〇〇〇圓
假拂金	三、〇〇〇圓
銀行預金	一、〇〇〇圓
現金	一、〇〇〇圓
計	一三四、〇〇〇圓

負債之部

未拂配當金	一、〇〇〇圓
未拂込株金過入金	一、〇〇〇圓
未拂青物代	一、〇〇〇圓
假受金	一、〇〇〇圓
製氷保證金	一、〇〇〇圓
青物部仲買人保證金	一、〇〇〇圓
魚部仲買人保證金	一、〇〇〇圓
假受金	一、〇〇〇圓
未拂青物代	一、〇〇〇圓
利益金	一、〇〇〇圓
前期繰越金	一、〇〇〇圓
當期利益金	一、〇〇〇圓
計	一三四、〇〇〇圓

右之通リ候也

昭和拾壹年十月參拾日

臺灣土地建物株式會社

臺北中央市場組合

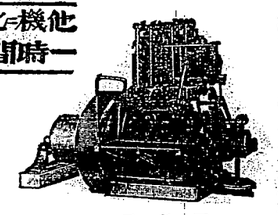
ヤンデンエルゼーヂーマン

內燃機界ノ覇王

絕對吳火紙其他進備操作要ズ

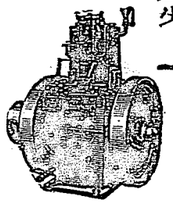
他機ニ比シ燃料消費量絕對少額

一時間一馬力ニ付キ一錢強



五十—六十馬力
十五—二十馬力

三—四馬力
五—六馬力
七—八馬力
十—十二馬力
十五—十七馬力



一—二馬力
十五—十七馬力
二十二—二十三馬力
三十二—三十三馬力
四十二—四十四馬力

大量製産・在庫豊富

山岡發動機臺北支店

臺灣の各位

鈴江特許活栓

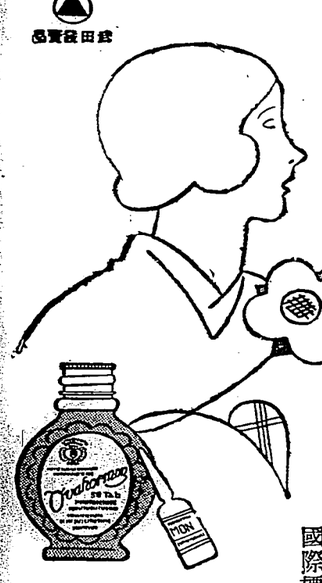
臺灣の各位

東京市

月經不順と寡少

オバホルモン

女性の美と健康を司る卵胞ホルモン



國際標準品に全く一致せる結晶性製劑

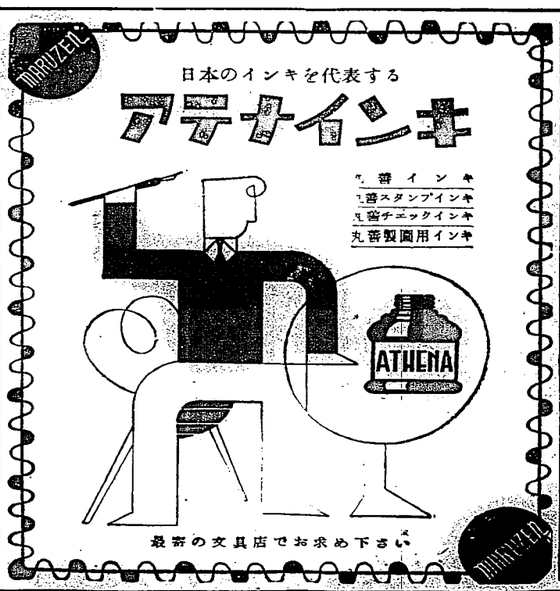
オバホルモンは女性特有の機能を發現せしめる重要なる卵胞ホルモンにして、卵巢機能を活潑ならしめ活力減衰せる諸臟器の機能を賦活し、新陳代謝をたかめ、以て女性の健康を保護增進せしむ。

女性神經衰弱、憂鬱症、月經痛
初老期（月經閉止年齡）の頭痛
心悸亢進・四肢冷感・視力減退
乳汁の分泌不足にも實用せらる

發賣元　武田長兵衛商店　大阪市東區道修町

タンポンに呼吸器敵ばめば

●齒痛、頭痛はガオガンに限る●



三光即ペン

萬交散

齒痛に
頭痛に
神經痛に

臺灣日日新報

大連汽船

大連直行

山東丸　十一月九日後五時艀

代理店　丸一組

門司近海郵船

門司神戸行

大和丸　定期檢査ニ付鉄航

吉野丸　十一月九日後四時半艀

朝日丸　十月十日後四時半艀

上海内地行

阪筑丸　十一月十日前九時艀

大連行

鞍馬丸　十一月二日正午艀

香港歐洲行

臺灣汽船

基隆出航（神戸行）

神戸行

福州上海行

廈門汕頭香港行

福州廈門行

香港東京行

廣東汕頭行

大連天津行

上海行

沖繩行

大連天津行

大阪商船

基隆出航（神戸行）

神戸行

福州上海行

廈門汕頭香港行

福州廈門行

香港東京行

廣東汕頭行

大連天津行

上海行

沖繩行

大連天津行

臺灣二地建物會社

臺北中央市場組合

母ハツ病獲

癌ノ處方有效

無久二十一日

七時死去致候間

友和谷清二

總本田順作

異父野清一

フアッショ陣營 獨伊中心に強化し

佛外交陣は漸次弱體化

ソ聯は空軍大擴張

對ソ外交方針再檢討

重光大使を中心に

重要打合せの後 須磨總領事南京へ

重要訓令を携行して

來年度にでも 南洋へ行き度

小林總督 庶政一新

內田氏の召喚で 昭和會は大衝撃

國防會議を 洛陽で開かん

南北將僚を網羅

證券業者法

來議會提出

廣梅鐵道愈〻建設へ

外務當局

飛躍的な我國の産金事業

増税も緩和と矛盾はしない

換轉の局政洲歐

臺北州三區も 定員に達す

高雄は出足が緩慢

所得稅、關稅は著增

軍需工業の殷盛等で

基隆郡は平穩

臺北市は內地人三名出馬

エチオピアの 公使館を廢止

獨逸が公布

木村書記生 太原へ

內外地の 海事行政を統一

遞信省幹部が聲明

鳥海艦上の賜饌

（電送）

外務在外公館の閉鎖、新設

加奈陀實業視察團 明春一月に來朝

官衙の執務時間

泊交通總長は 二日東京出發

臺北州三區も 定員に達す

藤井の移轉五周年 記念大賣出し

赤札大特價 三割、四割、五割引 絹布一割引

爆彈特價の大奉仕特價市 日一種一品特別サービス

藤井呉服店

滿洲へ 常に 国防色服

臺北 台北本町 竹屋洋行

御婚禮の御仕度は 桐箪笥・鏡台

藤生箪笥店

內科・小兒科專門 大磯內科醫院

珍奇興業大會

基隆郡は平穩

臺北市は內地人三名出馬

エチオピアの公使館を廢止

木村書記生 太原へ

內外地の海事行政を統一

鳥海艦上の賜饌

所得稅、關稅は著增

臺北州三區も定員に達す

對ソ外交方針再檢討

重光大使を中心に

重要打合せの後 須磨總領事南京へ

重要訓令を携行して

來年度にでも 南洋へ行き度

廣梅鐵道愈〻建設へ

國防會議を 洛陽で開かん

證券業者法

內田氏の召喚で 昭和會は大衝撃

飛躍的な我國の産金事業

換轉の局政洲歐

フアッショ陣營 獨伊中心に強化し

ソ聯は空軍大擴張

對ソ外交方針再檢討

重光大使を中心に

重要打合せの後 須磨總領事南京へ

重要訓令を携行して

來年度にでも 南洋へ行き度

廣梅鐵道愈〻建設へ

國防會議を 洛陽で開かん

證券業者法

內田氏の召喚で 昭和會は大衝撃

飛躍的な我國の産金事業

換轉の局政洲歐

フアッショ陣營 獨伊中心に強化し

ソ聯は空軍大擴張

對ソ外交方針再檢討

重光大使を中心に

重要打合せの後 須磨總領事南京へ

重要訓令を携行して

來年度にでも 南洋へ行き度

廣梅鐵道愈〻建設へ

國防會議を 洛陽で開かん

證券業者法

內田氏の召喚で 昭和會は大衝撃

電力國家管理案

閣議に說明せる其の要項

遞信省發表

【東京卅日發】四相會議で樹立決定した電力國家管理案は十月二十日の閣議に諒解を求め大綱を說明し各閣僚の賛同を得たが左の如くである

電力國策の必要

電力は其の國民生活に於ける重要性に鑑み國防上之を擧げて私企業に委ねず、きびきびと統一的に、而も最も合理的、且つ最も有効的に運用せらるべきものとの見地から、電力の國營的、合理的利用を益々國防國策の基礎に置き、又一次資源の開發並に資源價格を引下げ、二次資源の開發並に資源價格を引上げ、開發の助長を圖ると共に、電力料金、其の他電力企業に關する諸般の問題に對し、國民經濟の見地より、公正妥當なる調整を圖り、以て國家の興隆を期せんとするもの

電力國家管理案の內容

一、政府は電力を管理し其の中樞機關として電力國家管理會社を設立し、電力の國營を圖ること

二、會社は電力の開發、送電、變電、配電並に電力料金の決定、社債の發行、會計、人事等一切の業務を統轄すること

三、會社の資本金は一億圓とし、其の全額を政府出資とすること

四、會社の役員は總裁一名、副總裁二名、理事若干名、監事若干名とし、總裁、副總裁は內閣總理大臣の認可を受け、理事、監事は遞信大臣の認可を受けて政府之を任命すること

五、會社に參與一名、顧問若干名を置き、參與は遞信大臣の認可を受けて政府之を任命し、顧問は總裁之を委囑すること

六、會社に參與會を置き、參與會は關係各廳の官吏、學識經驗者、電氣事業者、電氣使用者、勞働者を以て之を組織すること

七、會社に電氣事業委員會を置き、委員會は學識經驗者、電氣事業者、電氣使用者、勞働者を以て之を組織すること

八、會社は其の業務の一部を地方廳又は電氣事業者に委託し、又は其の業務の一部を地方廳又は電氣事業者に委託することを得ること

九、會社は其の業務の一部を電氣事業者に委託し、又は其の業務の一部を電氣事業者に委託することを得ること

十、會社は其の業務の一部を電氣事業者に委託し、又は其の業務の一部を電氣事業者に委託することを得ること

十一、會社は其の業務の一部を電氣事業者に委託し、又は其の業務の一部を電氣事業者に委託することを得ること

十二、會社は其の業務の一部を電氣事業者に委託し、又は其の業務の一部を電氣事業者に委託することを得ること

十三、會社は其の業務の一部を電氣事業者に委託し、又は其の業務の一部を電氣事業者に委託することを得ること

十四、會社は其の業務の一部を電氣事業者に委託し、又は其の業務の一部を電氣事業者に委託することを得ること

十五、會社は其の業務の一部を電氣事業者に委託し、又は其の業務の一部を電氣事業者に委託することを得ること

十六、會社は其の業務の一部を電氣事業者に委託し、又は其の業務の一部を電氣事業者に委託することを得ること

十七、會社は其の業務の一部を電氣事業者に委託し、又は其の業務の一部を電氣事業者に委託することを得ること

十八、會社は其の業務の一部を電氣事業者に委託し、又は其の業務の一部を電氣事業者に委託することを得ること

十九、會社は其の業務の一部を電氣事業者に委託し、又は其の業務の一部を電氣事業者に委託することを得ること

二十、會社は其の業務の一部を電氣事業者に委託し、又は其の業務の一部を電氣事業者に委託することを得ること

不良證券業者

取締りの新法案

大藏省で具體案作成

來議會に提出

【東京三十一日發】大藏省では今回の證券業取締に關する法律の制定に當り、證券業者の範圍を擴張し、證券業者の取締を嚴重ならしめ、證券業者の不良なる營業を取締ると共に、證券業者の健全なる發達を圖ることとなり目下具體案を作成中であるが、從來の證券業取締法のまたる目的は證券の公正なる賣買取引の確保と證券業者の健全なる發達を圖ることにあつたが、今回の證券業取締法の改正は、從來の證券業者の範圍を擴張し、證券業者の取締を嚴重ならしめ、證券業者の不良なる營業を取締ると共に、證券業者の健全なる發達を圖ることとなり目下具體案を作成中である。然して今回の證券業取締法の改正は、從來の證券業者の範圍を擴張し、證券業者の取締を嚴重ならしめ、證券業者の不良なる營業を取締ると共に、證券業者の健全なる發達を圖ることとなり目下具體案を作成中である。然して今回の

新竹州下の

二期作作柄

平年作以上といふ所

出廻は昨年より遲れる

【新竹電話】新竹州下の第二期作は概ね順調の天候關係であつた爲め生育は概ね順調であつたが、九月末より十月初旬に亙り降雨續きの爲め一部に於ては倒伏を來し部分的には減收の被害を受けたものもあつたが全面的には概ね平年作以上として前年同樣作の如く好成績にあるは喜ばしき現象である。尙ほ收穫の出廻は例年に比し稍々遲れ十一月中旬頃より本格的出廻となるものと見られてゐる

赤字公債が

發行價格を割る

公債市價の漸落

【東京三十一日發】本社特電】最近公債市價は漸落傾向を辿り五分利四分利共に發行價格を割るに至つた。即ち五分利は三分半利公債の利廻りを目安に四分利は六分利公債の利廻りを目安に發行されるが、現在三分利公債も九圓一錢と額面を割つてゐるので、四分利は七圓と額面を割ることになり、從つて發行價格を額面以下に引下げなければ發行は困難である。從つて發行價格を額面以下に引下げなければ發行は困難である。從つて發行價格を額面以下に引下げなければ發行は困難である。